

2020-06

笠間市

産業
産物

歴史
史跡

作品タイトル

笠間焼の今昔マップ

解説

笠間市

キーワード： 笠間焼 陰影段彩図

笠間焼や各窯元の歴史や特徴などを丁寧に調べるとともに、笠間焼の窯元や笠間焼に関連する施設の分布を地図に表現した力作です。江戸時代から続く窯元と戦後創業の窯元を色分けして示すなどの工夫をし、その分布に特徴があることがわかります。笠間盆地の地形がよくわかる陰影段彩図を自分で作り背景地図にしているので、窯元の分布と地形との関係がありそうなのが気になり、その理由を知りたくなりました。第21回茨城児童生徒地図作品展優秀賞受賞。

制作者

茨城大学教育学部附属中学校 2年(佐々木 あすか)

制作者による紹介

昔の笠間焼は、水がめなどの生活雑貨を中心に大量生産をしていました。しかし今では、自由な作風が生まれ、個性的な陶芸家が活躍しています。このように笠間焼について調べてみると、昔と今で窯元の様子や作っている製品が大きく変わっていることに気付きました。地図でみると、江戸時代や明治時代などの昔からの窯元は大規模で笠間市内に点在しており、戦後創業した窯元は小規模で団地などに集中していることがわかります。

地図作品の対象地域がみられます。

地理院地図



縮尺を調整してご覧下さい。

地理院地図では、地形図のほか、年代別空中写真、地形分類、土地利用など、さまざまな地域の様子を知ることができます。

地理院地図の使い方については国土地理院のHPに詳しく紹介しています。

<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/>

茨城県の市町村の位置と地域は茨城県HPをご参照ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/towns/>

茨城県市町村区域図では旧市町村界もわかります。

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/shichoson/gyosei/documents/30.pdf>

こちらのサイトでも地図をみることができます。

Google マップ